

MR イメージング装置

要 求 仕 様 書

令和6年6月

県立安芸津病院

I 仕様書概要説明

1 調達背景および目的

県立安芸津病院（以下、「本院」という。）は、医療機能の強化、患者負担の軽減のため、磁気共鳴画像（magnetic resonance imaging: MRI）装置（以下、「MRI」という。）を新規で整備する。本院は、旧安芸津町・竹原市・大崎上島町等隣接地域の中核病院として、この地域で不足している小児医療や、竹原地区二次救急医療圏における病院群輪番制参加病院として救急医療の役割を担っている。今回調達しようとする MRI 装置は、整形外科・婦人科・泌尿器科領域をはじめ、救急対応や人間ドックにおける頭部検査も可能であり、地域住民に高い水準の医療サービスを継続して提供することを目的とする装置の調達である。

2 遵守事項

本件の調達において MRI システムの運用については、連携において厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第 6.0 版」を遵守すること。またその他の該当するガイドラインについても同様とする。さらに本調達のシステム構成が本院の医用画像情報システム運用を阻害しない構築を行うこと。

3 調達物品の構成

3-1	MRI 装置 本体システム	1	式
3-2	MRI 装置 制御処理システム	1	式
3-3	MRI 装置 撮像・画像処理アプリケーション	1	式
3-4	MRI 装置 関連備品	1	式
3-5	MRI 装置 システム関連備品	1	式
3-6	その他の備品	1	式
3-7	設置・外装・内装工事	1	式
3-8	その他（搬入、搬出、廃棄、据え付け、配線、配管、調整およびシステム接続等）	1	式

4 調達物品の一般的条件

- 4-1 入札機器のうち薬事法に基づく製造承認が必要な用具に関しては入札時点でその承認を得ている物品であり、入札機器メーカーが所有するものの中で最新のモデルシリーズ又はバージョンにて提案すること。
- 4-2 本件で納入する機器・備品は、設置までの間に装置の仕様変更やソフトウェアのバージョンアップがあった場合には、最新の仕様で引き渡すこと。
- 4-3 本調達における構成で必要となる物品に関しては、調達内に含めること。
- 4-4 上記以外の機器に関しては、入札時点で製品化されていること。また、開発が伴う装置においては、設置時期までに納入が可能である旨のスケジュールと証明書を提示すること。

5 技術的要件の概要

- 5-1 本調達物品に係わる性能、機能および技術等（以下、「性能」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は以下に示すとおりである。
- 5-2 本仕様書における技術要件は、本院が必要とする最低限の技術要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないと判断された場合には落札決定の対象から除外する。
- 5-3 入札機器の性能などが、技術要件を満たしているか否かの判断は、本院において、入札機器に関する技術仕様書その他の入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

II 調達物品に備えるべき技術的要件（性能、機能に関する要件）

I MRI 装置 本体システム一式

I-1 ガントリ・マグネットシステムは、以下の要件を満たすこと

- I-1-1 マグネットの静磁場強度は 0.3T 以上であること。
- I-1-2 マグネットの重量は、15 t 以下であること。
- I-1-3 ガントリデザインはオープン型で開放的であること。
- I-1-4 磁場の均一度を向上させるシミング機能および被験者ごとの自動シミング機能を有すること。
- I-1-5 患者用オーディオシステムを備えること。操作室内のマイクを使用して行った患者への案内が検査室内でスピーカーから聞こえ、双方向で会話が可能であり、音量調整も可能であること。
- I-1-6 検査室内の患者状態監視カラービデオカメラおよび表示用カラーモニタを有すること。
- I-1-7 本体ガントリの操作パネルは、ガントリ全面に左右両方に設置されていること。
- I-1-8 漏洩磁場において 5 ガウスラインは、ガントリ中心からの距離が 2.2M 以内。
- I-1-9 エマージェンシーコール機能を有すること。
- I-1-10 位置決め用ローライザーを有していること。
- I-1-11 ガントリは 200 度以上の水平解放角度を有し、磁場中心に対し真横からのアクセスが可能であること。
- I-1-12 マグネットには、傾斜磁場による過電流が生じない対策がなされていること。
- I-1-13 ランニングコストを抑えた液体ヘリウムを使用しないシステムであること。

I-2 傾斜磁場システムは、以下の要件を満たすこと

- I-2-1 各軸の最大傾斜磁場強度は、22mT/m 以上であること。
- I-2-2 各軸の最大スルーレートは、55mT/m/ms 以上であること。
- I-2-3 最大傾斜磁場強度への立ち上がり時間は、最大 0.4ms 以下であること。
- I-2-4 傾斜磁場デューティサイクルが 100% であること。

I-3 RF システム（RF コイル）は、以下の要件を満たすこと

- I-3-1 RF システムはデジタル方式で、RF 調整は自動チューニングであること。
- I-3-2 安定した送信 RF 機構（アンプ数・ポート数）を有すること。
- I-3-3 最大 RF 出力は、5kW 以上であること。
- I-3-4 照射コイルは、QD 出力であること。
- I-3-5 最適なコイルチャンネルの選択、配置を自動的に行える機能を有すること。
- I-3-6 感度範囲の広いソレノイドコイルによる頭部用 QD 型 RF コイルを有すること。
- I-3-7 感度範囲の広いソレノイドコイルによる腹部用 QD 型 RF コイルでミドルサイズを有すること。
- I-3-8 感度範囲の広いソレノイドコイルに膝用 QD 型 RF コイルを有すること。
- I-3-9 感度範囲の広いソレノイドコイルによる関節用コイルを 2 式有すること。

I-4 被験者テーブルは、以下の要件を満たすこと

- I-4-1 被験者テーブルは、電動により上下移動が可能であること。
- I-4-2 被験者テーブルはラテラル・スライドが可能でありフットペダルに対応していること。

- 1-4-3 被験者テーブルの最大耐荷重は、200kg以上であること。
- 1-4-4 被験者テーブルは非磁性体で構成されていること。
- 1-4-5 被験者テーブルは、床上 50cm以下まで下げられること。
- 1-4-6 被験者テーブルの幅は、70cm以上であること。
- 1-4-7 光ガイドにより指定された位置が自動的に撮影領域の中心に移動する機能を有すること。
- 1-4-8 緊急時には手動操作が可能であること。

2 MRI 装置 制御処理システム 一式

2-1 コンピュータシステムは、以下の要件を満たすこと

- 2-1-1 ホストコンピュータの CPU はクロック周波数 3.33 GHz 同等以上、内部メモリは 8GB 以上であること。
- 2-1-2 磁気ディスク装置の記憶容量は 320GB 以上が搭載されていること。
- 2-1-3 磁気ディスク装置の画像収集枚数は 256×256 マトリクスで約 180000 枚以上であること。
- 2-1-4 画像再構成時間 (256×256 マトリクス・FOV100%) は 11000 枚/s以上であること。
- 2-1-5 DICOM3.0 規格に準拠した画像データの転送が可能であること。
- 2-1-6 既存 PACS システムと MWM 連携が可能であること。
- 2-1-7 ワークステーションへ DICOM ストレージが可能であること。
- 2-1-8 外部画像記憶装置として CD-R あるいは DVD ドライブを有すること。
- 2-1-9 4.7GB 以上の外部記憶媒体を有すること。
- 2-1-10 外部記憶媒体としての画像収納枚数は 256×256 マトリクスで約 30000 枚以上であること。

2-2 本体操作コンソールは、以下の要件を満たすこと

- 2-2-1 モニタは 24 インチ以上のフルカラーLCD モニタであること。
- 2-2-2 モニタの表示マトリクスは 1920×1200 マトリクス以上であること。
- 2-2-3 解剖認識技術から、撮影領域をサポートできる機能を有すること。
- 2-2-4 安全上の観点から、SAR やdB/dt・BI+RMS などの数値がコンソール上で確認可能なこと。
- 2-2-5 GUI を採用し、マウスとキーボードによる操作であること。
- 2-2-6 被験者の事前登録が可能であること。
- 2-2-7 表示は英語または日本語の設定が可能であること。
- 2-2-8 撮像中の緊急停止が、操作コンソール上で可能であること。

3 MRI 装置 撮像・画像処理アプリケーション

3-1 基本撮像機能は、以下の要件を満たすこと

- 3-1-1 SE 法・IR 法・GRE 法・TSE 法・SSFP 法による撮像が可能であること。
- 3-1-2 アキシャル・コロナル・サジタル・オブリーク面での撮像が可能であること。
- 3-1-3 本撮像の位置決めは、1 画面上に同時に 3 軸方向の画像を表示させ、3軸の位置決めスタックが同時に追従して移動する位置決め機能を有すること。
- 3-1-4 各種同期での撮像が可能であること。
- 3-1-5 K 空間を放射状に充填する体動補正機能を有していること。またこの機能は

- DWI 撮像・GRE 法にも対応していること。
- 3-1-6 フロー補正・プリサチュレーションを含む、アーチファクト補正抑制が可能であること。
 - 3-1-7 IP-RAPID (FUJIFILM 社製) 相当の機能を有する高速撮像が可能であること。
 - 3-1-8 Auto Exam (FUJIFILM 社製) 相当の機能があり自動プランニング技術が頭部で可能であること。
 - 3-1-9 シングルショット/マルチショットの EPI シーケンスが可能で拡散強調画像が取得可能であること。
 - 3-1-10 2D/3D の TOF 法、PC 法が可能であること。
 - 3-1-11 2D の SE 法が可能であること。
 - 3-1-12 2D/3D の SSFP 法が可能であること。
 - 3-1-13 BSI (FUJIFILM 社製) 相当の機能を有する磁化率強調画像が取得可能であること。
 - 3-1-14 ASL による非造影アンギオ計測機能を有すること。
 - 3-1-15 VASC-ASL (FUJIFILM 社製) 相当の機能を有する非造影 MRA 画像が取得可能であること。
 - 3-1-16 マルチアングル・マルチスライス撮像が可能であること。
 - 3-1-17 撮像視野は、X-Y-Z 方向共に、最小 6mm 以下・最大 320mm 以上であること。
 - 3-1-18 最大撮像マトリクスは、データ補間を行わず 1024×512 マトリクス以上であること。
 - 3-1-19 脂肪抑制の手法は Dixon 法を含み 3 種類以上を有すること。
 - 3-1-20 Dixon 法は TSE 法および GRE 法に適用可能なこと。
 - 3-1-21 3DGEIR (FUJIFILM 社製) 相当の機能を有する、主に脳萎縮解析を目的とした T1 強調画像撮像のため IR パルス付きの GE 法を有すること。
 - 3-1-22 Iterative Process を用いた撮像時間短縮技術を 2D/3D にて使用できること。
 - 3-1-23 MRCP・MRU・Myelo が撮像可能であること。

3-2 操作コンソールでの画像処理は、以下の要件を満たすこと

- 3-2-1 MIP・MPR・MinIP 処理ができること。
- 3-2-2 MIP 処理はフリーハンドトレース処理ができること。
- 3-2-3 MPR 処理は、任意方向での再構成が可能であること。
- 3-2-4 DWI 画像の ADC 値の自動計算・ADC マップの表示が可能であること。
- 3-2-5 マルチスライスのカーブド MPR 処理が可能であること。
- 3-2-6 撮像、読影および画像処理の並行処理が可能であること。
- 3-2-7 本装置にて得られた画像に対して、イメージングフィルター処理が可能であること。

4 MRI 装置 関連備品 一式

4-1 関連備品

- 4-1-1 すべてのコイルを収納できる市販または自社製の棚を 1 式有すること。
- 4-1-2 患者固定具を有すること。

- 4-1-3 操作のための机・椅子を1式有すること。
- 4-1-4 本院採用のMRI用生体情報モニタを1台有すること。
- 4-1-5 本院採用のハンディタイプの金属(もしくは磁性体)探知機を1台有すること。
- 4-1-6 MRI室用の監視カメラ1式を有し、その映像を操作室から観察できるようにすること。
- 4-1-7 MRI室用の点滴台(天吊仕様)を1台有すること。
- 4-1-8 本院採用のMRI対応車椅子を1台有すること。
- 4-1-9 MRI検査室用のオーディオシステムを1台有すること。
- 4-1-10 MRI対応ストレッチャーを1台有すること。
- 4-1-11 日常点検等に使用可能なMRI校正用ファントムを1式有すること。
- 4-1-12 本院採用電子カルテ端末1台を増設できること。
- 4-1-13 製品パネルを有すること。
- 4-1-14 MRI検査室および各部屋の用途を示す掲示および磁場環境に対する注意喚起の掲示を行うこと。

5 MRI装置 システム関連備品 一式

- 5-1 システム関連備品については、以下のシステム備品を調達すること。
 - 5-1-1 放射線科で使用する電子カルテ端末は、モニター2面構成で導入すること。仕様は、既設CTで使用する端末と同様であること。
 - 5-1-2 VINCENT専用クライアント端末を1台調達すること。仕様は、既設CTで使用する端末と同様であること。
 - 5-1-3 検像端末を1台調達すること。仕様は、既設CTで使用する端末と同様であること。
- 5-2 システム関連備品については、以下の設定の要件を満たすこと。
 - 5-2-1 電子カルテ端末は、MRI装置に対してDICOM-MWM接続の機能を有すること。
 - 5-2-2 電子カルテで利用するMRIオーダは、PACSとオーダ連携すること。
 - 5-2-3 電子カルテで利用するMRIオーダが実稼働時に追加が必要な場合は、マスターの追加作業をすること。
 - 5-2-4 電子カルテで利用するMRIオーダは、会計実施のマスターが整備されていること。
 - 5-2-5 MRI装置は、PACSに対してDICOMストレージ機能を有すること。
 - 5-2-6 MRI装置は、VINCENTサーバに対してDICOMストレージ機能を有すること。
 - 5-2-7 MRI装置は、検像サーバに対してDICOMストレージ機能を有すること。
 - 5-2-8 MRI装置は、電子カルテ端末に対してDICOM-MWM機能を有すること。
 - 5-2-9 VINCENT専用クライアント端末は、PACSに対してDICOMストレージ機能を有すること。
 - 5-2-10 VINCENT専用クライアント端末は、検像サーバに対してDICOMストレージ機能を有すること。
 - 5-2-11 検像端末はPACSに対して、DICOMストレージ機能を有すること。
 - 5-2-12 検像端末はVINCENTサーバに対して、DICOMストレージ機能を有すること。
 - 5-2-13 DICOM通信は別表のライセンスを有すること。
 - 5-2-14 MR画像閲覧時のPACSオーバーレイ表示の項目は、本院の担当者の指示に

従うこと。

- 5-2-15 新設装置の接続において、接続ライセンス・AE タイトル・IP アドレス等の設定は、本院担当者の指示に従うこと。
- 5-2-16 すべての装置、機器の施設名を英語表記にて統一すること。（英語表記：Akitsu Prefectural Hospital）
- 5-2-17 新規導入機器の時刻設定は、本院のタイムサーバと接続して取得すること。
- 5-2-18 本調達装置において、ネットワーク接続がなされるものに対しては、ウイルス対策を施すこと。PC に関しては、USB ポートは使用不可の仕様とすること。
- 5-2-19 ウイルス対策ソフトに関しては本院担当者の指示に従い、必要なライセンス数を調達すること。この条件は本調達装置・機器の義務付けとする。但し、薬機法に関する別途対応は、その限りでない。
- 5-2-20 LAN 配線工事は、新設 MRI 装置本体および新設 MRI 装置関連システムならびに本院が必要と認めた機器については本院担当者の指示に従い施行すること。その費用は本調達に含まれること。
- 5-2-21 新規に敷線する LAN ケーブルの色は、本院担当者の指示に従うこと。
- 5-2-22 機器の LAN 接続は、すべて情報コンセントを設置して接続すること。また必要数に関しては本院担当者の指示に従うこと。
- 5-2-23 各情報コンセントにはスイッチ名およびポート番号を明記すること。設置 場所については本院担当者の指示に従い施行すること。その費用は本調達に含まれること。
- 5-2-24 ネットワーク接続に関する資料（ネットワーク配線図・スイッチ管理票・ポート管理票等）は、接続工事・接続設定・接続確認後に本院担当者の書式に従い提出すること。また、新規 MRI 装置導入に対して関連する備品は、本院の管理システムに入力すること。
- 5-2-25 当該機器と病院既存の情報システム（HIS・RIS・PACS 等）間の連携については TCP/IP・DICOM・HL7 および XML の利用などの標準的な規格使用を前提とし、病院情報管理システム相手方と詳細な打ち合わせの上、実施すること。また、連携に関わる費用（LAN 配線等も含む）については、本調達に含むものとする。

Ⅲ 調達物品に備えるべき技術的要件（性能、機能以外の要件）

Ⅰ 設置要件

- Ⅰ-1 本調達機器の設置場所は、本院担当者と打合せの上、その指定する場所に設置すること。
- Ⅰ-2 調達物品のシステム・規格・寸法等の仕様書および設置計画図を提出すること。
- Ⅰ-3 調達物品の納入前に、設置等にかかる日程表を提出すること。
- Ⅰ-4 本調達装置・機器の設置により既設の装置・機器の場所に影響する場合は、本院担当者と打合せの上、既設装置・機器についてもその指定する場所に移動し設置すること。
- Ⅰ-5 MRI 装置システムを導入する際は、MRI 検査室・MRI 操作室・その他（MRI 待合スペースや更衣室など）を含む必要な施設の改修工事を行うこと。
- Ⅰ-6 MRI 検査室内は LED 照明とすること。
- Ⅰ-7 更衣室の天井には、ダウンライトを各部屋に取り付けること。
- Ⅰ-8 新規導入装置に伴う、搬入・備え付け・配管・配線・医療ガス工事・空調設備等、必要となりうる工事については、関係各所と事前調整および工事施工を行うこと。また施設を稼働させるために必要となる総合調整等を行うこと。

1-9 設備要件を満たすための費用は、本調達に含めること。

2 設備要件

- 2-1 MRI 装置設置床面については必要な補強を行うこと。また、構造補強計画は病院の機能運営上、支障のないものとする。
- 2-2 外乱磁気ノイズによる装置への影響を抑える磁気シールドを施すこと。
- 2-3 MRI 検査室の電磁場シールドには片開扉（廊下側への外開き仕様 w120cm以上）がついており、ストレッチャーでの患者搬入に支障のない出入りで簡単であること。
- 2-4 MR 検査室は、撮影中であっても室内を直接みることができる RF シールドが施された窓をそなえていること。
- 2-5 MRI 操作室床面については、必要な補強を行うこと。
- 2-6 本調達の装置・機器を本院指定の設置場所で稼働させるために必要な配線（電源および LAN）等の変更または増設を行うこと。
- 2-7 障害発生時のリモートメンテナンスのために必要な通信設備が必要な場合は、本院担当者と協議の上実施すること。
- 2-8 設備要件を満たすための費用は、本調達に含めること。

3 撤去・搬入・据付・配線および調整

- 3-1 本院が必要と認めた施設、環境設備の設置・改修に伴う工事費は、本調達に含めること。
- 3-2 本院が必要と認めた施設の改修工事は、請負業者側が手配し実施すること。
- 3-3 本院の空調設備・電源設備等以外に必要な設備がある場合は、請負業者において用意すること。
- 3-4 本院の電源容量に変更が必要な場合は、請負業者において用意すること。
- 3-5 既設電気設備等の施工作业については、他の医療機器への影響も考慮し施工にあたっては十分に注意を払うこと。
- 3-6 各機器、器具の設置場所は、本院担当者が指定した場所に設置すること。
- 3-7 機器導入の予定する撮影室の回収にあたり、廃材などについては、関係法令に反することなく適正に撤去すること。
- 3-8 搬入・据付工事等は、本院担当者と十分に協議を行い、工事上・工程上および安全管理上支障がないように行うこと。施設の破損がないようにすることとし、万一破損した場合は、本院担当者と協議の上、納入業者の責任で原形復旧すること。
- 3-9 施設側電源設備・給配水管工事・配線・配管工事・電気工事・換気および空調工事は、本院の関係者と十分協議した上で施工すること。
- 3-10 調達物品の設置にあたっては、本院の設置条件に照らし合わせて、電気容量・建築基準・消防法・医療法・電波法等関連法規に抵触しないように予め確認の上、実施すること。
- 3-11 装置の設置から使用開始までの養生管理又はそれに伴う保険等は、納入業者側の負担で行うこと。
- 3-12 落札から納入までの間に装置の仕様変更、ソフトウェアのバージョンアップ・変更・追加があった場合は、最新の仕様にて引き渡すこと。
- 3-13 検査室内装工事および撮影室外の整備工事を行うこと。なお、詳細は本院担当者と協議を行うこと。また、その費用は本調達に含まれること。
- 3-14 MRI 装置システム設置にあたり、申請や届出書類を作成する支援を行うこと。
- 3-15 装置稼働に際し必要な工事はすべて行うものとする。
- 3-16 撤去・設置工事は工事期間・内容などを事前に協議し、スケジュールに従い完了すること。

- 3-17 撤去・搬入・据付・調整等に必要な工事に関わる一切の費用は本調達に含むものとする。
- 3-18 放射線管理区域内で調達等の作業をする際、本院の放射線予防規定等を達守して施工、安全を第一にすること。
- 4 守秘義務については、以下の要件を満たすこと。
 - 4-1 契約者は本システムの導入、保守等に携わる全ての作業（契約者が下請けする業者も含む）に以下のポリシーを理解させ、それを遵守し行動するよう管理すること。
 - 4-2 システム内のデータに関する守秘義務として、本システム内に保存されている画像・その他患者のプライベートに係わる情報も守秘事項とする。
 - 4-3 本院担当者が許可する場合を除き、守秘事項を病院外に持ち出すことを禁ずる。PC 内部や記憶媒体での持ち出し、ネットワーク経由の転送・ダウンロードおよび口外することを禁止する。
- 5 障害支援体制については、以下の要件を満たすこと。
 - 5-1 障害時には復旧のため障害発生通知後、障害発生時の一時対処のため、リモートメンテナンスを行うこと。また当日および翌日までには速やかに対応すること。
 - 5-2 電話回線・コンピュータ回線を使用したオンライン故障診断に対応する機能を対応できる体制であること。年間を通じて 24 時間体制のコールセンターを設置していること（2 年目以降の保守内容は、本院と別途協議すること）。
 - 5-3 電話回線またコンピュータ回線は、メーカーの費用にて用意すること。
 - 5-4 リモートメンテナンスに関しては、別途本院と守秘義務契約を締結すること。「リモートサービスセキュリティガイドライン Ver.3.0」を遵守すること。
 - 5-5 JAHIS「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書」ガイド Ver.4.0 に従い、製造業者による医療情報セキュリティ開示書を提出すること。
- 6 保守体制・保証期間については、以下の要件を満たすこと。
 - 6-1 当システムが正常に動作することを納入後 1 年間は無償で定期的に点検・調整をし、障害防止を行うこと。
 - 6-2 当システムの運用を円滑に実施するために、技術的なサポートをすること。またシステムの安定稼働のために技術的サポート体制が整備されていること。
 - 6-3 ソフトウェアのバージョンアップは無償で行うこと。
 - 6-4 納入後 1 年間は、通常の使用により故障又は障害が発生した場合、無償保証に応じること。
 - 6-5 通常の使用で発生した故障の修理および定期点検を実施できる保守体制があること。
 - 6-6 本調達物品の装置本体部品供給期間は、納入検査時より 10 年以上とし、調達物品は、納入後においても稼働に必要な消耗品・故障時に対する交換部品の安定供給が確保されていること。
 - 6-7 通常の業務時間において、障害連絡後速やかに対応できる体制が整っていること。また、夜間および祝祭日でも修理等の対応・連絡体制が整備されていること。
 - 6-8 運用開始後 2 年目以降の保守点検の実施に関しては、本院担当者と協議を行い、内容その他について決定すること。
 - 6-9 調達物品の故障、不具合に対して、保守等に関する契約を締結するか否かに関わらず修理等の対応、連絡体制が整備されていること。
 - 6-10 障害時は、早急な復旧を可能にするサービス体制を有することを証明すること。
 - 6-11 調整・修理等のすべての作業について、その作業内容をその都度本院担当者に報告するこ

と。

6-12 本件、導入備品のすべてを対象とすること。また、対象除外のものは、事前に提示すること。また、両者の識別は書面に記載し、対象除外備品についての連絡窓口を示すこと。

7 その他については、以下の要件を満たすこと。

7-1 導入に伴う稼働準備および運用・教育体制・教育訓練に関しては、設置・稼働・操作にあたり落札業者の負担により、本院に操作説明員を派遣し、担当技師への教育訓練を行うこと。また、その後必要に応じて派遣または電話の対応等の体制を確保すること。

7-2 取扱説明に関する教育訓練は、本院の担当者の指定する日時で操作説明会を実施すること。

7-3 調達物品のシステム・規格・寸法等の仕様書および配置計画図を提出すること。

7-4 調達物品の納入前に、設置等にかかる日程表等を提出すること。

7-5 調達物品の取扱については、本院の関係者に対して十分な説明を行うこと。

7-6 導入する装置は、入札時に薬事承認がとれた製品であること。

7-7 日本語の操作手順書・使用マニュアルおよび添付文書は、すべて2部用意すること。

7-8 標識および注意事項の掲示を本院担当者と協議の上、本院規定に基づき本院施設内の必要箇所に設置すること。

7-9 本調達により更新・追加される装置・機器・医療情報端末等については、設置できるスペースを確保すること。スペースがない場合は、机・椅子・ラック等を導入すること。

7-10 本調達における全ての装置・周辺機器類について、本院の書式に従い、型式・シリアル番号等の一覧リストを電子媒体と紙媒体で提出すること。または、本院担当者の指示に従い資産管理システムに直接入力すること。

7-11 本仕様書に記載のない事項については、相互の協議によって対処するものとする。

7-12 上記の要件にかかる費用は、本調達に含めるものとする。

<別表>

場所	接続機器名	社名	SCP	SCU	Storage	Q/R	MWM
6 番撮影室	RIS	Fujitsu	HIS クライアント	MRI 装置			○
6 番撮影室	VINCENT	FMS(株)	VINCENT サーバ	MRI 装置	○		
6 番撮影室	Quartina	アレイ(株)	検像サーバ	MRI 装置	○		
6 番撮影室	Synapse	FMS(株)	PACS	MRI 装置	○		
6 番撮影室	Synapse	FMS(株)	PACS	VINCENT サーバ	○	○	
6 番撮影室	Synapse	FMS(株)	PACS	検像サーバ	○	○	
6 番撮影室	Synapse	FMS(株)	VINCENT サーバ	検像サーバ	○		
6 番撮影室	Quartina	アレイ(株)	検像サーバ	VINCENT サーバ	○		